

OITA NEXT ATHLETE

—陸上はいつから始めたんですか？

小学1年生のときに2つ上の姉の影響で始めました。最初のころは週1回の練習でしたが、だんだん楽しくなって、小学3年生のころから本格的に練習するようになりました。

—得意種目は？

100m走ですね。普段出場するのは、100m走・200m走。100m走はスタートダッシュがとても重要な種目ですが、スタートだけでいうと全国大会レベルの選手たちと比べ遅い方です。ただ、わたしの強みは、後半にかけて加速がかかること。うちの高校は長い坂道の上にあるんですが、練習でも走る坂道なので、そういったところで筋肉強化できたのかもしれないね。

—目標としている選手は？

ジャマイカ出身のフレーザープライス選手です。彼女も短距離走の選手で、過去オリンピックで優勝した実績もある選手。長身が有利といわれている中でかなり小柄な選手です。ただしその分、走るときに全身を大きく動かしているんです。わたし自身も小柄なほうなので、彼女の走りを目指しています。

—昨年の高校総体・国体を経験して学んだことはありますか？

実は1～2年生のときはけがをしていて、大会に出場できなかったんです。当時の練習も、最初のミーティングには参加するけど、その後はずっと別メニュー。正直、心が折れたし、陸上から離れたと思うこともありました。それでも続けられたのは、高校生になったときに「全国で1番になる」と自分で決めていたこと、顧問の先生やチームメイトたちの支えがあったからだと思います。高校に入ったばかりのころは「自分さえ早く走ればそれでいい」と思っていたんですが、今回の優勝を通して感謝の気持ちや仲間の大切さに気付くことができました。

—今後の予定・目標は？

福岡大学への進学が決まっています。もちろん、陸上は続けるつもりです。2020年の東京オリンピックのとき、わたしは大学3年生。オリンピック出場を最終目標にしつつ、それまでに個人種目と4×100mリレーでそれぞれ日本一になりたいです。

ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックの国内開催が迫り、一層盛り上がりを見せるスポーツ界。大分の地でキラリと光る若手アスリートを、シリーズで特集します！

これからの目標を胸に、前へ



Kodama
Mei



▲100m走の自己ベストは11秒76

◀高校総体の100m走で優勝したときの表彰式



兒玉 芽生 大分雄城台高校

年齢: 18歳 身長: 160cm

経歴:
2017年6月 秩父宮賜杯全国高等学校陸上競技対校選手権大会北九州地区予選会 100m女子・200m女子・4×100mリレー優勝
7月 秩父宮賜杯全国高等学校陸上競技対校選手権大会 100m女子優勝・200m女子4位
10月 第72回国民体育大会 少年女子A 100m優勝